

ライブラリープログラム まちなかにふさわしい“新しい図書館”

(1) 基本方針

- ・「米百俵の精神」発祥の地、国漢学校の跡地という場所性を活かす
- ・地域の特性、教育、将来を考えたものを特徴にする
- ・産業人の育成、産業・起業支援を特徴にする
- ・気軽に誰でも利用でき、にぎわいを創出する
- ・利用者ニーズを反映した資料を取り揃え、いつ来ても楽しむことができる空間づくりを行う

(2) 実施プログラム方針

◆ 配架テーマは生活に役立つものを中心に

生活に密着した「しごと」や「くらし」に関する調べものや相談、情報提供等といったものに重点をおき、利用者が抱える課題の解決に役立つ図書館を目指す(新聞や雑誌のラインナップも充実させる)
また、配架は従来図書館が行っているNDCによらず、時事に関することや、季節ごとの本など旬な話題を集めたテーマ別の配架を行う

◆ 他の機能と相互に連携したプログラム展開

米百俵プレイスは、子どもの学びや産業ビジネス振興といった機能も有しているため、これらの機能と相互に連携し、効果の最大化を図るための支援を実施する

◆ 居心地のいい空間づくり

多様な閲覧スペースを設け、インテリアや家具は利便性が高く多様性のある様々なタイプのものを採用し、まちなかの知的空間にふさわしい環境を整え、利用者がリビングのように居心地がよく、会社や自宅とは違うサードプレイスの場となるような雰囲気づくりを目指す

(3) 実施場所

- ・メインはA2棟3階(配架方法:固定書架、編集書架、流動書架)
- ・その他、B棟3階、階段ライブラリー、A2棟5階

この図書館で実現したいこと

課題解決型・知的サポート型図書館の実現

- 思いがけない本の出会いを創出
- 利用者が抱える課題の解決に役立つ図書館
- 他機能との連携、人づくりや学びの土台となる知的サポート
- 利用者ニーズを十分に把握しそれに応えるサービスの展開

- ・ 米百俵プレイス(仮称)に導入する「まちなか図書館」では、まちなかを利用する人たちが求めているニーズを十分把握しながらそれに応え、変化・成長しながら、まちなかという場所性に特化したサービスを展開します。
- ・ 未来の長岡を支える人づくり・学びの拠点として、子どもたちがさまざまな体験や経験により視野を広げることができ、若者が将来への想いを馳せ自らが問いをつくりながら考え、創造できる場の土台となる知的サポートを行います。

基本機能

A 情報収集・閲覧

- ・ 最新の資料を備え、利用者が常に新しい情報に触れることができる機会を創出します。
※蔵書数 4万冊
(このほか電子書籍等の資料を備える)
- ・ 利用者が何度でも行きたくなる居心地のいい閲覧環境をつくれます。
- ・ 利用者の気づきや問いが生まれる資料の配架を行います。

B 調査相談・支援

- ・ 利用者の「なぜ？」に応える場にします。
- ・ 利用者が調べたいこと、悩みや課題を解決するための支援を行います。

C 関連機能等との連携

- ・ 米百俵プレイスに導入する他の機能と連携した取り組みを積極的に行います。
- ・ 利用者の自発的な学びや意欲を掘り起こし、人材育成や産業育成の一翼を担います。

D 多世代交流・にぎわい創出

- ・ 施設内にはカフェや広場を設け、多世代が集い出会い交流が生まれる場(居場所)をつくれます。
- ・ 施設はもちろん、まちなか全体を「本」によってつなぎ、にぎわいを創出します。
- ・ ICTを活用した利便性が高く快適な図書館空間を実現します。
※デジタルサイネージ、WiFi、ICタグ